

平成 24 年度「豊岡市震災総合防災訓練」実施概要

1 趣 旨

近年日本各地で地震による被害が多発している。特に昨年 3 月に発生した東日本大震災は、原子力災害を併発するなど、我が国に未曾有の被害をもたらした。また、豊岡市においても、87 年前の大正 14 年 5 月 23 日に発生した北但大震災により、豊岡、城崎地域を中心に甚大な被害を受けた。このことから、いつ発生するかもわからない地震災害に備え、発災時に迅速かつ適切な応急対策が取れるよう防災訓練を実施する。

2 訓練想定

- (1) 北但馬地域を中心に震度 6 強の大地震が発生し、豊岡市市街地において甚大な被害が続発、多数の家屋が倒壊するとともに火災も発生している。また、海岸付近では津波の恐れもある。豊岡地域以外（城崎、竹野、日高、出石、但東）では、被害は発生しているものの比較的小さいため、豊岡地域に対する支援を求める。
- (2) 豊岡市災害対策本部は豊岡市役所東庁舎別館 2F 会議室に、また地域災害対策本部を各総合支所内に、現地災害対策本部を被害の大きい豊岡市土淵地内に置く、との想定で訓練を実施する。訓練では、豊岡市災害対策本部、地域災害対策本部、現地災害対策本部をいずれも訓練会場内にそれぞれ設置する。

3 実施日時 平成 24 年 9 月 1 日（土）9：30～12：00

4 実施場所 豊岡市土淵 円山川運動公園

5 参加機関（参加予定機関及び予定人数）

【国関係】

- | | |
|----------------------------------|------|
| (1) 陸上自衛隊第 3 特科隊 | 15 人 |
| (2) 第 8 管区海上保安本部（美保航空基地、香住海上保安署） | 10 人 |
| (3) 国土交通省豊岡河川国道事務所 | 10 人 |

【県関係】

- | | |
|-------------------|------|
| (4) 兵庫県但馬県民局 | 3 人 |
| (5) 豊岡北警察署、豊岡南警察署 | 20 人 |

【市関係】

- | | |
|-----------------------------|-------|
| (6) 豊岡市（災害対策本部員、各部員、市消防本部） | 200 人 |
| (7) 豊岡市豊岡消防団（8 個分団） | 90 人 |
| (8) 豊岡市各消防団（城崎、竹野、日高、出石、但東） | 25 人 |

【地元地区関係】

- | | |
|-----------------------------|------|
| (9) 中筋地区自主防災組織（9 地区 × 10 名） | 90 人 |
|-----------------------------|------|

【学校関係】

- | | |
|--------------------|-------|
| (10) 中筋小学校（教職員・児童） | 130 人 |
|--------------------|-------|

【病院関係】

- | | |
|-------------|-----|
| (11) 公立豊岡病院 | 6 人 |
| (12) 豊岡市医師会 | 3 人 |

【関係団体】

(13) 豊岡市社会福祉協議会	14人
(14) (株)エフエムたじま	3人
(15) (株)NTT西日本	5人
(16) 関西電力(株)	5人
(17) 自動車整備振興会、シンプル車検グループ	5人
(18) 兵庫県建設業協会豊岡支部	10人
(19) 豊岡生コンクリート協同組合	5人
(20) 株式会社さとう豊岡店	5人
その他	

合計：約 660 人

6 主な訓練内容

- (1) 地元住民、中筋小学校児童などによる避難訓練
- (2) 自主防災組織による消火・救出訓練及び避難搬送訓練
- (3) 消防団による避難広報・負傷者搬送訓練および中継送水による大規模火災消火訓練
- (4) 消防本部による消火救助訓練
- (5) 陸上自衛隊による炊き出し訓練
- (6) 兵庫県警察による救出活動訓練
- (7) 海上保安庁ヘリコプターによる救助訓練
- (8) 国土交通省豊岡河川国道事務所による画像電送訓練
- (9) NTT、関西電力、市上下水道部によるライフライン復旧訓練
- (10) 豊岡市社会福祉協議会によるボランティアセンター開設・運営訓練
- (11) 中筋小学校教職員、市避難部による避難所開設訓練
- (12) 災害時応援協定に基づく緊急物資搬送訓練及び障害物除去等訓練 など

都合により、訓練内容が変更になる場合があります。